

研究要旨

教員特別研究推進

No.	テーマ	学部	代表者	
1	自己効力理論に基づいた心理教育の可能性 – 大学体育のテニス初級者を対象とした授業実践を事例として –	薬	准教授	窪田 辰政
2	夏休みファーマカレッジ2022	薬	教授	轟木 堅一郎
3	アウトリーチ研究事業「漢方の基礎学習と薬草園見学会」2022	薬	教授	渡辺 賢二
4	人材育成教育プログラム開発による健康長寿社会の実現	薬	教授	森本 達也
5	持続可能な医療システムの実現を目指したグローバルな実践型薬学教育	薬	教授	黒川 洵子
6	医療コミュニケーション能力と薬学的介入能力を醸成する薬剤師外来での実務実習	薬	教授	賀川義之
7	研究マインドを持った臨床薬剤師養成のための教育プログラムの実践とアウトカムの評価	薬	教授	伊藤 邦彦
8	薬剤師のタスクシフト/シェアの推進を目指した新たなワクチン接種への教育法の開発	薬	教授	内田 信也
9	質の高い薬剤師を持続的に輩出するための薬剤師国家試験対策学修支援	薬	教授	眞鍋 敬
10	O-グルコース型糖鎖修飾による Notch 活性化機構の解析	薬	教授	竹内 英之
11	糖鎖科学に基づいた皮膚のエラスチン産生を促進する技術の開発	薬	講師	南 彰
12	ノロウイルスに対する抗ウイルス活性を示す低分子化合物の探索研究およびその機序の解明	薬	助教	紅林 佑希
13	化学構造情報を利用した毒性評価手法の開発	薬	教授	吉成 浩一
14	肝がん及び胆管がん細胞の上皮間葉転換を評価可能なスクリーニング系の構築	薬	助教	志津 怜太
15	化学物質のオートファジー活性への影響と肝毒性発現との関連性に関する研究	薬	助教	保坂 卓臣
16	植物フラボノイドによる膵β細胞アポトーシス抑制効果の細胞内シグナル伝達系の解析	薬	教授	石川 智久
17	Gタンパク質からアプローチする糖尿病治療薬のシーズ探索	薬	准教授	木村 俊秀
18	膵β細胞標的抗糖尿病成分の創製を指向した柑橘果皮成分の構造活性相関研究	薬	講師	金子 雪子
19	静岡県の農産物由来エクソソーム様小胞の肝線維化責任細胞に対する抗線維化効果	薬	助教	山口 桃生
20	ナノ粒子受容体分子を標的とした脂質ナノ粒子製剤に関する基盤研究	薬	教授	浅井 知浩
21	生体内でリサイクルされるプラスチック人工抗体創製による敗血症治療	薬	講師	小出 裕之
22	糖尿病性腎症尿管への薬物送達の実現による新規腎保護戦略の開発	薬	講師	米澤 正
23	組織内高極性化合物の高感度かつ高解像度なイメージング法の開発	薬	助教	杉山 栄二

24	がん予防薬創出の方法論の確立をめざす有機合成化学的アプローチ	薬	准教授	吉村 文彦
25	静岡県産柑橘類に含まれるフラボノイドの合成と新規プローブ分子化	薬	講師	稲井 誠
26	静岡県産発酵茶成分Teadenol 類の合成研究	薬	助教	大内 仁志
27	静岡県立大学薬草園植物群のゲノム情報と遺伝子異種発現システムを用いたアルカロイド系化合物の創出研究	薬	講師	佐藤 道大
28	キノコ由来ステロール化合物群の生成機構の解明	薬	助教	岸本 真治
29	静岡産茶の実油の生物薬剤学的解析と食品・化粧品素材への高次利用	薬	教授	尾上 誠良
30	薬剤科学技術の戦略的応用によるサクラエビ由来機能性成分の経口吸収性向上	薬	准教授	佐藤 秀行
31	溶解性改善技術の適用によるたまねぎ・茶由来難溶性機能性成分の生物薬剤学的特性向上	薬	助教	山田 幸平
32	非晶質薬物含有ナノファイバー製剤中の薬物分子運動性と放出特性との関連性	薬	教授	近藤 啓
33	ポリマー/ペプチド/核酸アセンブルナノ粒子の均質微小化技術構築と表面力学物性ならびにNose-to-Brain動態の解析	薬	准教授	金沢 貴憲
34	薬物搭載デンタルフロスの強度が歯間部での薬物送達に与える影響	薬	助教	照喜名 孝之
35	重合カテキン含有香煎茶による脂質異常症に対する効果の検証	薬	教授	森本 達也
36	静岡県産香煎茶による肥満改善メカニズムの解明	薬	講師	刀坂 泰史
37	マグロ・カツオ含有イミダゾールペプチドの心肥大・心不全に対する効果検討	薬	講師	砂川 陽一
38	遺伝子編集マウス作出法iGONADを用いたIKS-TGマウスの遺伝子編集	薬	准教授	坂本 多穂
39	パーキンソン病患者における非定型抗精神病薬の使用実態調査：後ろ向き観察研究	薬	教授	山田 浩
40	新規小児用製剤としてのプレゲル(即時ゲル形成)顆粒の調製と評価	薬	准教授	宮寄 靖則
41	ヘキシルデシルリン酸-アルギニン複合体を用いた経皮吸収製剤の開発	薬	講師	内野 智信
42	ナノ粒子アルブミン結合パクリタキセル及びゲムシタビン併用療法の有害事象を早期に反映するバイオマーカーの探索	薬	講師	大澤 隆志
43	精神疾患におけるQOL状況への酸化ストレスの関連	薬	准教授	井上 和幸
44	ファーマコゲノミクスを活用した食道癌DCF療法による重篤な骨髄抑制発現の予測モデルの構築	薬	講師	辻 大樹
45	分光イメージング技術を用いたテープ製剤の製剤学的評価	薬	講師	柏倉 康治
46	関節リウマチ患者における血漿および関節中GlcNAc濃度の変動要因の探索的評価	薬	助教	谷澤 康玄
47	開放系カルボニル化反応における反応機構解析	薬	准教授	小西 英之
48	多環式芳香族ジニトロ化合物の変異原発現機構解明のための有機化学的アプローチ	薬	講師	岩本 憲人
49	ピロール類の変換による多置換ピロリジン類およびピロリン類の合成	薬	助教	山口 深雪
50	新型コロナウイルスMタンパク質とヒトPCNAとの分子間相互作用の構造生物学的解明	薬	教授	橋本 博
51	がんや不妊の新たな治療戦略に向けたタンパク質構造基盤	薬	准教授	原 幸大
52	神経膠腫で高発現し腫瘍の増大を抑制するタンパク質の構造解析に向けた試料調製	薬	助教	菱木 麻美

53	生体内酸性官能基の選択的化学修飾法の開発と応用	薬	教授	濱島 義隆
54	医薬品合成効率化に向けたフロー型マイクロ波システムの利用	薬	准教授	江上 寛通
55	二環性ピリミジンのフッ素誘導体化と18F-PET標識化への応用	薬	助教	山下 賢二
56	膜張力感知イオンチャネル群による骨格筋再生機構の解明	薬	教授	原 雄二
57	記憶の獲得および忘却過程に対するPIEZO1イオンチャネルの役割	薬	助教	鈴木 美希
58	単球系細胞上のG蛋白質共役型受容体による慢性炎症制御機構の解析	薬	教授	梅本 英司
59	侵害刺激受容体TRPチャネルを標的としたワクチンアジュバントに関する研究	薬	講師	黒羽子 孝太
60	腸内細菌代謝産物によるパイエル板貪食細胞の抗原取り込み促進作用の解析	薬	助教	中西 勝宏
61	静岡県産食品素材を用いた下部尿路症状を改善する 機能性食品の開発	薬	特任教授	山田 静雄
62	褐藻類抽出エキスの低活動膀胱への応用	薬	講師	伊藤 由彦
63	健康長寿の鍵を握る生体膜脂質分子の同定	薬	助教	村上 光
64	バンコマイシン母集団薬物動態パラメータ算出及び最適血中バンコマイシン濃度シミュレーションシステム確立	薬	講師	三浦 基靖
65	1細胞内代謝物の超高感度質量分析法の開発とがん細胞メタボロミクスへの展開	薬	助教	古庄 仰
66	脂肪細胞を標的とした胃癌性腹膜播種に対する新規予防治療薬の探索	薬	助教	浜辺 俊秀
67	静岡産植物を由来とする大腸発がん抑制物質の開発	薬	特任教授	長田 裕之
68	安定同位体標識した脂質・脂肪酸の合成法の確立と活用	薬	教授	滝田 良
69	骨格筋系列の細胞におけるキシロース含有糖鎖の生合成調節機構に関する研究	薬	教授	竹内 英之
70	糖鎖生物学に基づくノロウイルス感染機構の解明	薬	助教	紅林 佑希
71	一アミノ酸変異マウスを利用した、核内受容体CARシグナルの解明とその肝機能・肝毒性制御への応用	薬	教授	吉成 浩一
72	去勢抵抗性前立腺がん治療のためのAR-V7の核移行を抑制する化合物の探索と機序解析	薬	助教	志津 怜太
73	膵β細胞におけるメラトニン生合成関連遺伝子の発現変化による妊娠糖尿病発症の可能性	薬	教授	石川 智久
74	インスリン分泌後の過程から迫る糖尿病治療薬のシーズ探索	薬	准教授	木村 俊秀
75	mRNAワクチン開発に向けた新規LNP技術に関する基盤研究	薬	教授	浅井 知浩
76	脳虚血再灌流障害治療に向けたプラスチック抗体開発	薬	講師	小出 裕之
77	有機分子触媒を活用したネオスルガトキシンの合成研究	薬	講師	稲井 誠
78	腸内細菌が産生する大腸がん新規リスク要因コリバクチンの発がん機序解明と予防法の確立	薬	教授	渡辺 賢二
79	天然物の生合成機構を基盤としたプロテアーゼ阻害剤の創製	薬	講師	佐藤 道大
80	心不全発症におけるGATA4ホモ多量体形成の検討	薬	教授	森本 達也

81	男女差を考慮した新規心毒性評価系の開発	薬	教授	黒川 洵子
82	敗血症における性差決定因子の同定と発現調節機構の解明	薬	准教授	坂本 多穂
83	レンボレキサントの体内動態変動メカニズムに基づいた至適投与法の開発	薬	教授	賀川 義之
84	高度催吐性レジメンに対するステロイド薬を含まない新規3剤併用制吐療法の開発を目的とした多機関共同第II相試(PATROL-II試験)	薬	講師	辻 大樹
85	小児及び成人の混合モデルを用いた母集団薬物動態解析による肺動脈性肺高血圧症治療薬の適正治療に関する研究	薬	教授	内田 信也
86	ディフィシル菌のDNA複製系を標的とした感染症治療に資する構造生物学的研究	薬	教授	橋本 博
87	ミスマッチ修復の反応場を形成するミスマッチセンサーの構造生物学的解明	薬	准教授	原 幸大
88	転写を抑制するヒストンバリエントの分解機構の解明	薬	助教	菱木 麻美
89	有機触媒的光駆動型還元反応によるハロアルカンおよび二酸化炭素の分子変換	薬	教授	濱島 義隆
90	キラルイオン対会合型ケトン触媒のライブラリー構築と光反応の立体制御	薬	助教	山下 賢二
91	細胞の質的特性を決定する細胞分裂機構の解明	薬	教授	原 雄二
92	腸内細菌による血管バリア機能の制御機構解析	薬	教授	梅本 英司
93	タイスラナリー工科大学との大学間協定を基盤とした研究交流の活性化と機能性食品の開発	薬	講師	南 彰
94	協定締結・交流協定締結を目的とした台湾国立清華大学との共同研究	薬	教授	渡辺 賢二
95	インドネシア・バンドン工科大学との国際交流の促進	薬	教授	森本 達也
96	カリフォルニア大学デービス校とのCOIL型教育によるDX人材育成支援	薬	教授	黒川 洵子
97	日本学術振興会 国際交流事業 研究拠点形成事業	薬	教授	渡辺 賢二
98	本学のSDGs活動の推進	食品	教授	谷 晃
99	専門職を目指す学部生に対する実践知を習得できるキャリア形成プログラムの提案と臨床栄養師有資格卒業生のリカレント教育プログラムの構築	食品	教授	新井 英一
100	ニュートリゲノミクスの理解に資する栄養学実験の推進	食品	准教授	細岡 哲也
101	総合食品学講座による実学的教育	食品	准教授	伊藤 創平
102	筋萎縮予防のための新規機能性食品素材の探索	食品	教授	三浦 進司
103	透析患者の低栄養改善に向けて;ビタミン摂取不足・血清低値な患者に対するビタミン補給の有用性の検討	食品	教授	保坂 利男
104	不登校生徒の身体状況、食・生活習慣、精神状態、QOL、環境における実態調査による課題の検討	食品	教授	桑野 稔子
105	微生物の酸化還元プロセスを利用した無機元素リサイクル法の開発	食品	教授	谷 幸則
106	豆乳タンパク質粒子の凝集反応の速度論的な解析と物性変化	食品	教授	下山田 真
107	甲虫目衛生害虫剤プロモホスエチルの非意図的生体作用能に関する研究	食品	教授	牧野 正和

108	食・住環境と光老化との関係－MMP-1発現とヒストン変化がもたらす老化とその予防	食品	教授	伊吹 裕子
109	ニホンウナギの完全養殖の高度化に資する育種技術の開発:ゲノム編集による生殖幹細胞の卵形成誘導	食品	教授	小林 亨
110	成分分析と生理機能評価に基づく静岡県産抹茶の特徴付け	食品	教授	熊澤 茂則
111	糖尿病宿主における黄色ブドウ球菌の病原性発現に変異・発がん物質が及ぼす影響	食品	教授	増田 修一
112	HSP遺伝子の遺伝型および発現量と健康指標との関連	食品	教授	小林 公子
113	静岡県民の高たんぱく質食品摂取と腸内細菌叢メタ解析の関連から肥満の個別化予防を確立する ～四季食事調査(ビックデータ)の欠測値をMCMC法で多重代入する解析～	食品	教授	栗木 清典
114	アフターコロナ社会における包摂的な社会教育のあり方の検討	食品	教授	角替 弘規
115	静岡県に生息するニホンジカの食資源化に向けた、捕獲地域の異なるシカ肉の食肉特性の比較および新たなシカ肉製品の開発・評価	食品	教授	市川 陽子
116	静岡県内におけるマダニ媒介感染症に関する研究	食品	教授	大橋 典男
117	サンショオール類の分解抑制技術の開発	食品	教授	江木 正浩
118	静岡県の特産品「自然薯」の有効成分ジオスゲニン高生産	食品	准教授	三好 規之
119	化学的性質が類似した複数のレアメタルを同時に分離する革新的手法の開発	食品	准教授	永井 大介
120	静岡県産バイオマスからのファインケミカルの発酵生産	食品	准教授	原 清敬
121	ゲノム編集技術を用いた高付加価値チャ(茶)の作出法の確立	食品	准教授	田村 謙太郎
122	茶およびフェノール含有食品の渋み除去をめざした、安価なポリフェノール酸化重合酵素精製法の開発および技術熟成	食品	准教授	河原崎 泰昌
123	時系列官能プロファイルを活用した銘柄緑茶のおいしさの「見える化」	食品	准教授	伊藤 圭祐
124	内臓神経を介したエネルギー代謝調節機構の解明並びに健康増進への応用	食品	准教授	内田 邦敏
125	職域における肥満予防と食環境づくり	食品	講師	串田 修
126	トマチジンおよびトマチジン高含有エキスによる腫瘍形成抑制効果のメカニズム解明	食品	助教	佐藤 友紀
127	アリルイソチオシアネート(AITC)投与による生体内ドコサヘキサエン酸(DHA)合成促進機構の解明	食品	助教	吉岡 泰淳
128	ニシキギ科植物の含有成分に関する研究	食品	助教	藁科 力
129	食品残渣を活用した効率的な昆虫生産系の開発	食品	助教	大原 裕也
130	種々の媒体に対するリコピンの溶解度調査と予測モデルの構築	食品	助教	村上 和弥
131	硫黄不均化細菌を用いた重金属イオン除去の検討	食品	助教	梅澤 和寛
132	小腸オルガノイド由来単層上皮機能測定系の確立	食品	助教	石塚 典子
133	燻製食品に含まれる多環芳香族炭化水素類およびそのハロゲン化物の曝露・リスク評価	食品	助教	徳村 雅弘
134	表皮の糖化に対する微生物代謝産物の抑制作用機序の解析	食品	助教	島村 裕子

135	県産品エキスにおける新規アイケア機能の開拓	食品	助教	寺田 祐子
136	スチームコンベクションオープンを用いた粥のクックチル提供の検討と調理・生産現場における効果的な活用に関する研究	食品	助教	大槻 尚子
137	静岡ガス(株)ビオトープ内に生息するマシジミの資源量回復と増大のための養殖法の確立	食品	助教	明正 大純
138	有用色素化合物を生産する駿河湾深海微生物の探索と機能解析	食品	助教	菊川 寛史
139	みかん含有フラボノイド類の効率的合成と機能性探索研究	食品	助教	繁田 堯
140	消毒副生成物ヨード酢酸によるADP-リボシル化阻害の検討	食品	助教	小牧 裕佳子
141	水耕栽培によるチャ根の特性と有効利用に関する研究	食品	助教	斎藤 貴江子
142	NAFLD合併2型糖尿病患者における薬物療法と栄養療法の併用による管理法の構築	食品	助教	川上 由香
143	食・環境・健康の研究推進と情報発信による地域貢献	食品	特任教授	若林 敬二
144	With/Postコロナ禍に対応した茶の開発・情報発信と「学生に美味しいお茶を」プロジェクトの推進	食品	特任教授	中村 順行
145	「ふじのくに」みらい共育センターにおける「地(知)の拠点」としての分野横断型地域志向研究・地域貢献活動の推進	食品	特任教授	合田 敏尚
146	ウェアラブル端末を用いた健康関連データ解析の基盤整備とそのデータを活用したIT実践教育プログラムの試行	食品	特任教授	合田 敏尚
147	持久運動とレジスタンス運動のそれぞれに特異的な高血糖改善作用を有するマイオカインの探索	食品	助教	榛葉 有希
148	多環芳香族炭化水素類のおよびその誘導体の高感度分析手法の開発	食品	助教	野呂 和嗣
149	アシルヒドラゾン構造を有する分解可能な環境調和型高分子材料の開発	食品	助教	岡本 衆資
150	ニコチンアミド中間代謝産物による細胞内NAD濃度上昇が肥満時の白色脂肪組織に及ぼす影響の解明	食品	助教	伊美 友紀子
151	抹茶品質安定のための成分要件の決定	食品	助教	本田 千尋
152	青果物の細胞壁を想定したペクチンゲルの冷凍操作による分解機構の検討	食品	助教	小林 りか
153	大腸菌でのバイオ医薬品糖タンパク質産生系の開発	食品	助教	藤浪 大輔
154	ワサビの放出する香り成分の各種害虫に対する誘引性評価-総合的害虫管理防除に向けた可能性の探索-	食品	助教	増井 昇
155	リン脂質クオリティが骨格筋機能を制御する(骨格筋特異的LPGAT1欠損マウスを用いた解析)	食品	教授	三浦 進司
156	遅い夕食の代謝異常に対する時間栄養学的病態生理の解明と要因の血清メタボローム解析による探索	食品	教授	保坂 利男
157	地球温暖化による皮膚温度の上昇と皮膚がん増加の関係-熱による液-液相分離はDNA損傷修復を阻害するのか?-	食品	教授	伊吹 裕子
158	農業の脱炭素化に向けた戦略的研究	食品	教授	谷 晃
159	高リン血症にて生じる血管内皮細胞および腎近位尿細管細胞の機能低下に対する尿酸代謝産物が及ぼす影響の評価および分子メカニズムの解明	食品	教授	新井 英一
160	酵素法によるD-アミノ酸誘導体合成を目指した高機能化人工酵素の開発と応用	食品	准教授	中野 祥吾
161	野菜や果物に含まれる芳香族アミンの代謝物解析と安全性評価	食品	准教授	三好 規之

162	使用済みリチウムイオン二次電池からの環境適応型レアメタル回収システムの開発	食品	准教授	永井 大介
163	バイオプロダクションに資する微生物のエネルギー代謝改善法の開発	食品	准教授	原 清敬
164	食事誘導性の褐色脂肪組織熱産生におけるエネルギー基質利用・基質選択性の制御メカニズムの解明	食品	准教授	細岡 哲也
165	高等植物の虫害防御機構～アブラナ科植物の生体防御を担う特殊な細胞小器官	食品	准教授	田村 謙太郎
166	立体構造・遺伝子・アミノ酸配列データベースを活用した蛋白質デザイン法の開発と実証研究	食品	准教授	伊藤 創平
167	小腸上皮細胞の膜リン脂質組成が栄養素吸収機能を制御する	食品	助教	佐藤 友紀
168	光駆動型エネルギー再生システムによる黄麹菌の物質生産性の改善	食品	助教	菊川 寛史
169	テトロドトキシン耐性腸管神経反射を介した腸管粘膜バリア機能調節機構	食品	助教	唐木 晋一郎
170	ビタミンD補給に対する生体利用能の個人差の検討および欠乏状態の改善に向けた個別化栄養管理法の構築	食品	助教	川上 由香
171	機能性食品開発を目指したタイ産蜂製品の成分分析と機能性評価	食品	教授	熊澤 茂則
172	バングラデシュの河川における金属汚染の特徴に関する研究	食品	教授	雨谷 敬史
173	静岡県立大学の男女共同参画における地域ジェンダー平等推進と男女支援啓発地域連携事業に関する基礎研究	国際	教授	犬塚 協太
174	東アジア学術・文化交流のオフキャンパス型アップデート	国際	教授	奥蘭 秀樹
175	European Studies の研究ツール開発に関する研究(5)	国際	教授	栗田 和典
176	国際比較による類型を踏まえた後期中等教育から大学教育への選抜と接続に関する教育学的研究	国際	教授	澤田 敬人
177	市民活動・NPO・対人支援分野の隘路と希望：卒業生との共同プロジェクト	国際	教授	津富 宏
178	2022年度国際関係学部日本語教員養成課程における日本語教育実習について	国際	教授	水野 かほる
179	地球規模の気候変動にともなう異常気象と自然災害に対する地域社会の対応の国際比較研究	国際	准教授	孫 暁剛
180	ボアジチ大学と連携したトルコ理解の促進：ボアジチ大学との交流事業の継続と向上のために	国際	准教授	佐藤 真千子
181	日本語運用技術力の向上のための有効的教授法	国際	准教授	竹部 歩美
182	英語における感情表出構文のメカニズムの解明	国際	准教授	田村 敏広
183	コロナ禍におけるヨーロッパ地域研究と学習支援②	国際	准教授	森 直香
184	スコットランド・ゲール語とスコッツ語による詩の教育的効果に関する研究	国際	准教授	米山 優子
185	非法学部学生に対する法教育のあり方に関する検討：実践的法教育の有用性	国際	講師	石川 義道
186	受講生の学びへの参加を促す授業づくりに関する研究——多様な学生を取り残さないポストコロナを見据えた授業アプローチの模索	国際	講師	二羽 泰子
187	難民受け入れ地域の人とモノのモビリティに関する人類学的研究：ウガンダの事例から	国際	助教	村橋 勲

188	オーラルヒストリーによる韓国知日派知識人に関する研究	国際	教授	小針 進
189	学際的グローバリゼーション研究をめぐる外部研究者コミュニティとの関係構築	国際	教授	澤田 敬人
190	外国にルーツを持つ子どもたちの日本語教育支援(第4期)	国際	教授	高畑 幸
191	市民基盤の政策形成の仕組みづくり: 市民自治に向けて	国際	教授	津富 宏
192	文学の地域資源としての活用——駿河・伊豆エリア(地域振興)	国際	教授	細川 光洋
193	河井家文書と日本政治(河井重蔵・弥八を中心に)	国際	教授	前山 亮吉
194	戦時・戦後期における啓蒙運動とメディア	国際	教授	森山 優
195	在日外国人の音楽活動—フィリピン人集住地域(静岡、愛知、首都圏)におけるコミュニティ形成と共棲	国際	教授	米野 みちよ
196	東海道五十三次と駿遠豆の旅籠——ホスピタリティでつなぐ世界、日本、静岡	国際	准教授	松森 奈津子
197	コロナウイルスと共存する世界と静岡県経済・企業の持続可能性への影響	国際	講師	飯野 光浩
198	新型コロナウイルス感染症拡大下での法廷通訳の現状と課題	国際	教授	水野 かほる
199	近代インド宗教史研究と比較文化教育への新聞データベース活用——「裾野のDHJ」の試み (2)	国際	准教授	富澤 かな
200	Withコロナ時代におけるアクティブラーニング・プログラムの開発	経情	教授	上野 雄史
201	動画作成による学生の情報発信力の育成と大学広報基盤の推進	経情	教授	渡邊 貴之
202	地域産品のグローバル展開に関わるマーケティング研究	経情	教授	岩崎 邦彦
203	With/Afterコロナ時代の地域中核人材育成における課題と展望	経情	教授	小西 敦
204	静岡県経済の構造的課題と健康関連産業を事例とした産学連携のあり方	経情	准教授	岸 昭雄
205	時空間ビッグデータを対象としたメタクラスタリング技術と可視化法の研究	経情	准教授	大久保 誠也
206	本学と賀茂1市5町地域連携協定に基づく同地域の観光に関する基礎的研究	経情	教授	八木 健祥
207	ポストコロナを見据えた静岡県観光戦略の調査研究	経情	教授	大久保 あかね
208	海外メディアにおける静岡の認知度向上	経情	教授	竹下 誠二郎
209	静岡における社会的課題に応える社会保障政策などの政策研究	経情	教授	藤本 健太郎
210	自治体が実施する効果的な認知症予防事業の在り方に関する研究	経情	教授	東野 定律
211	ICTイノベーション研究センターを基盤とした産官学民連携活動の推進に関する研究	経情	助教	天野 政紀
212	戦略的事業承継のあり方に関する研究	経情	教授	落合 康裕
213	自治体情報システムの標準化・共同化対応の差異に関する研究	経情	講師	松岡 清志
214	ホテル・旅館における月間売上予測モデルを元に、流通チャネル別売上予測、および付随販売の売上貢献分析を組み合わせた研究について	経情	特任教授	北上 真一

215	地域包括ケアシステムにおける多職種連携に関する研究	経情	講師	木村 綾
216	本学設置の自立型防災通信ステーションの学外向けの通信機能強化に関する研究	経情	教授	湯瀬 裕昭
217	プロジェクト・ベースド・ラーニングを活かした地元企業との協働プロジェクト	経情	准教授	国保 祥子
218	地域共生社会の実現にむけた介護サービスの革新	経情	講師	天野 ゆかり
219	静岡県内の観光パンフレットにみる観光資源の位置づけと領域イメージ	経情	教授	内海 佐和子
220	医用画像からの心臓抽出の実現ならびに修正インタフェースの開発	経情	助教	小田 紘久
221	統計的機械学習を用いた社会時系列データ予測分岐に関する研究	経情	教授	六井 淳
222	SDGsの実現に向けた予算編成:国際援助機関におけるジェンダー予算について	経情	准教授	森 勇治
223	臨床判断能力の向上を目指した高機能シミュレータを用いた教育手法の検討	看護	教授	田中 範佳
224	コロナ禍における成人看護学領域で必要とされる看護実践能力の獲得に関する臨地実習プログラムの評価と検討	看護	教授	山田 紋子
225	コロナ対策による孤立・孤独を防ぐメンタルヘルス支援法の開発	看護	教授	篁 宗一
226	ICTを活用した慢性看護学実習の教育教材作成と評価	看護	教授	林 みよ子
227	病棟における看護師の生活行動援助の実態と認識—看護と看護教育の歴史的変遷で見出された視点からの検討	看護	准教授	山口 みのり
228	教育用電子カルテを活用した学内実習の学習効果	看護	講師	管原 清子
229	看護ケアにおける看護師の前腕の汚染に関する実験的検証	看護	講師	加藤 京里
230	静岡県下に在籍する看護系大学教員のメンタルヘルスに関する研究～職場環境の特性と精神的健康の関連～	看護	助教	遠藤 りら
231	訪問看護師の思考と臨床判断を培う看護基礎教育プログラムの開発	看護	教授	富安 眞理
232	慢性腎臓病(CKD)の診断基準となるeGFRシスタチンおよびeGFRクレアチニンの有用性に関する臨床的意義の検討	看護	教授	荒井 孝子
233	コロナ禍に小児看護学実習を行った学生の卒後評価—実習教育施設(静岡県立こども病院)との協働—	看護	教授	山下 早苗
234	静岡県における地域在住高齢者のフレイルの実態とフレイル予防活動の効果	看護	准教授	永谷 幸子
235	ライフスタイルの変容が疾病発生リスク及び寿命に与える影響の予測	看護	准教授	堀 芽久美
236	外国人患者や市民向け医療情報に関する資料のわかりやすさの検討:翻訳アプリを活用して	看護	講師	濱井 妙子
237	多環芳香族化合物の毒性作用機序に関わる遺伝子発現評価	看護	助教	三崎 健太郎
238	回復期リハビリテーション病院における認知症高齢患者に対する身体抑制回避プログラム開発の一考	看護	助教	飯塚 真樹
239	精神疾患を有する女性の気になる更年期に関する心身の不調に関する実態調査—精油を用いた更年期症状のセルフケア行動獲得を目指して—	看護	助教	近藤 美保
240	最適看護ケアを客観的に評価できるデバイスの開発と有用性の検討	看護	助教	中岡 正昭
241	子どもを対象としたアドバンスケアプランニング(ACP)の検討—静岡県立こども病院における現状と課題—	看護	助教	丸山 始美

242	病院出産を選択する女性が妊娠期から地域開業助産師と繋がることによる産後うつ予防の効果	看護	助教	高木 静
243	重症心身障がい児が最善の生活するためにCOVID-19(コロナ)との共生を視野に入れた看護実践の課題	看護	助教	池田 麻左子
244	思春期に定期補充療法を行う血友病患者における出血症状の体験	看護	助教	梁川 明
245	地域におけるNICU退院後の乳児期の親に対する育児支援に関する調査	看護	助教	長屋 和美
246	外来における循環器疾患患者の看護実践に関する系統的レビュー・メタ分析	看護	助教	星 有紀
247	壮年期の終末期がん療養者と家族のニーズと求める支援	看護	助教	長谷部 美紀
248	3歳から就学前の子どもに母親が家庭で行う性と生殖の教育プログラムの開発	看護	准教授	中川 有加
249	神経難病療養者の在宅療養支援に関するIPW (Interprofessional Work) 状況調査	看護	講師	加納 江理
250	3カ国5大学連携によるグローバル看護教育プログラムの開発	看護	講師	根岸 まゆみ
251	英文法のeラーニング教材開発 ―ユニバーサル・アクセスを目指して―	言コミ	准教授	藤森 敦之
252	大学生の英語ライティングに見られる思考内容と思考過程の関係性	言コミ	特任講師	相羽 千州子
253	L1/L2 transfer vs. direct writing: towards better teaching methods for writing	言コミ	特任講師	Arshavskaia, Ekaterina
254	創作行為を媒介とした言語と身体の連動とその教育的含意――SPAC俳優による演劇ワークショップをとおして	言コミ	特任講師	小田 透
255	行動科学に基づく対人援助型コミュニケーション技法「MI」のシミュレーション教育プログラムー模擬患者参加型演習への展開ー	短大	教授	仲井 雪絵
256	模擬患者 (Simulated Patient:SP) 参加型シミュレーション教育の学修効果分析および方略検討	短大	准教授	長谷 由紀子
257	スライディングシート「スピラドゥ」を用いた着脱介助方法の検討	短大	准教授	木林 身江子
258	高齢者施設におけるスタンディングリフト導入の可能性の検討	短大	助教	大石 桂子
259	マトリックスメタロプロテアーゼの発現を減少させるサイトカイン混合物の探索	短大	教授	吉田 直樹
260	立体形状の選好と触る行為についての研究	短大	准教授	藤田 雅也
261	地域で福祉と防災が連携する西豊田インクルーシブ防災活動の実践研究	短大	准教授	江原 勝幸
262	ケア労働者を誰一人取り残さない社会の実現	短大	准教授	中澤 秀一
263	静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)階層別研修プログラムの開発に係る調査研究ー熱海市支援活動を事例とした課題分析と教材開発ー	短大	准教授	鈴木 俊文
264	保育者の資質向上が保育実践に与える影響ーディベート教育プログラムの導入ー	短大	准教授	副島 里美

学部研究推進

No.	テーマ	学部	代表者	
1	マルチモダリティー創薬に向けた多分野連携研究・教育の基盤構築	薬	教授	濱島 義隆
2	健康長寿の実現に向けた分野横断研究・教育の推進	薬	教授	原 雄二
3	食品栄養科学部における学部発展のための教育改革と研究推進	食品	教授	伊吹 裕子
4	令和4年度食品栄養科学部改革推進費	食品	教授	三浦 進司
5	食品栄養科学部および大学院食品栄養科学・環境科学専攻の学生に対する就職支援活動	食品	教授	増田 修一
6	部局高等教育の活性化 ― 研究成果発表の推進と分析機器の保守	食品	教授	熊澤 茂則
7	学生生活のウェルビーイングを向上する：学生のニーズと生きのびるコツの可視化	国際	教授	津富 宏
8	海外授業及び海外フィールド・ワークの実践(継続)	国際	教授	小針 進
9	教職課程の自己点検・評価の仕組み導入のための研究	国際	教授	園田 明人
10	静岡におけるヨーロッパ文化の発見 ―ポスト・コロナ時代の国際関係学の模索②―	国際	准教授	小窪 千早
11	日本研究プログラム(思想部門)前提知識の整理のための動画教材制作	国際	准教授	木澤 景
12	伝統武術・スポーツのグローバル化と社会的影響に関する領域横断的研究	国際	教授	奈倉 京子
13	ムセイオン静岡を通じた地域一体型教養教育モデルの探究(4)	国際	特任教授	富沢 寿勇
14	国際関係学部・研究科の広報戦略に関する研究	国際	准教授	森 直香
15	イノベーション研究に資する環境整備	経情	教授	武藤 伸明
16	中期計画の実施に関する研究能力の強化	経情	教授	八木 健祥
17	看護教育における初年度科学教育と専門教育の連携について―基礎健康科学演習を含めた初年度教育の充実と専門教育への橋渡しモデルカリキュラムの提案―	看護	教授	太田 尚子
18	コンケン大学看護学部、米国等大学との国際交流に関する研究	看護	教授	太田 尚子
19	看護教育質保証に向けた取り組みと人材育成、リカレント教育の推進	看護	教授	太田 尚子
20	地域住民と地域の看護者との交流を生かした看護者基礎教育の推進	看護	教授	富安 眞理・ 太田 尚子
21	歯科衛生学科における将来構想につなぐ教育改革の推進―歯科衛生士国家試験基準の改定と授業内容について―	短大	教授	吉田 直樹